

類型1 相可高等学校

生産経済科・環境創造科・食物調理科・普通科の学びをつなぎ、食と農の価値を高める人材を育成

① 学校の特色

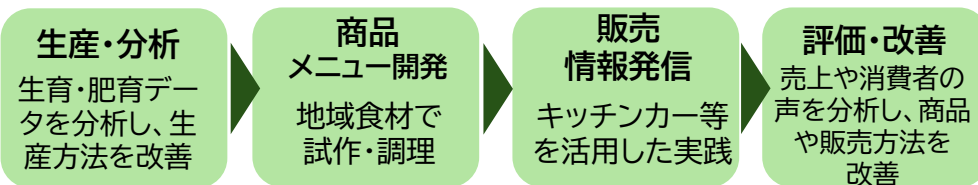
- 全国ブランドの松阪牛の肥育、全国トップクラスの測量士合格者数、「まごの店」での活動や第一線で活躍する料理人の輩出など、食と農の実践教育を支える基盤
- 専門学科に加え、普通科を設置

生産経済科	環境創造科	食物調理科	普通科
生産 肥育	測量 農業土木	調理 商品開発	データ分析 販売促進

生産から調理・販売までを一つの学校で学べる強みを生かす

③ 実践的な授業

- 学校設定科目（学科横断型）「バリューチェーン実践」を新設
4学科すべての生徒が、生産から販売、評価・改善までを一体的に学ぶ
【課題テーマ例】 松阪牛
肥育・生体データを分析し、部位に応じたメニューや加工商品を開発・販売



生産から販売までを一体的にマネジメントし、地域資源の付加価値を高める力を育てる

② 企業・大学等との連携

- 企業・大学等の専門家の指導を得て、スマート農業や商品・メニュー開発、データ分析等の専門性を高める

「農業・経営」

三重大学等
・ スマート農業、農業経営を指導

「実習・先端技術」

サグリ、ポモナファーム等
・ AIや生育・肥育データ等を活用したスマート農業や栽培・肥育、経営を学ぶ授業・実習の支援

「食・商品開発」

ひらまつ・京都吉兆等
・ 学校設定科目「ガストロノミー」（食物調理科）を新設
・ 高度な調理技術、商品・メニュー開発を指導

④ 育成する人材像・卒業後の姿

食と農の価値を高める人材

農業経営 マネジメント人材

AI・データを活用し、生産から販売までを一体的に捉え、地域資源を持続的な収益につなげる

一流料理人

経営的な視点と、地域食材の魅力を引き出す高度な調理技術を身に付け、食の付加価値を高める

■ 卒業後の姿

- 農業法人・就農
・ 生育・肥育データを分析し生産性と収益性を高める
- 食品・外食産業・料理人
・ 地域食材の商品化・ブランド化を担う
- 大学・農業大学校等
・ 農業経営の専門性をさらに高める

相可高校で開発した学科横断型の授業を県内の農業高校へ展開

類型2 伊勢高等学校

文系・理系を分けず、全員がAI・データ活用と科学的な考え方を学び、地域や産業の課題解決に挑む人材を育成

① 学校の特色

- 伊勢志摩地域の中核的な進学校
- SSHで培った専門性の高い理数教育と、夏季休業中にまとまった時間を確保して取り組む集中型の探究講座の実績
- 少子化により学力や進路希望が多様化し、2040年の県内普通科高校の姿を先取り



- ・普通科を「未来探究科学科」(仮称)に改編
- ・文理を問わず理数的素養を育む普通科改革

② 企業・大学等との連携

- 企業・自治体から実データの提供を受け、大学の指導・支援のもと、地域や産業の課題解決に取り組む

「企業・自治体」

シンフォニアテクノロジー、伊勢市等
・ 半導体、観光等の課題やデータを提供

「大学」

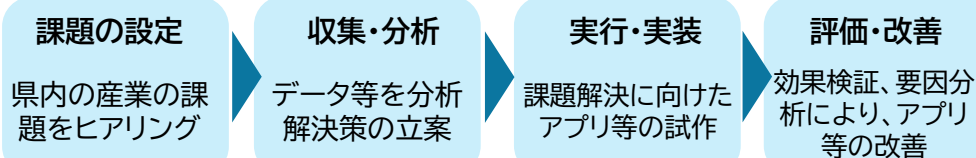
三重大学、皇學館大学、鈴鹿医療科学大学等
・ 教材開発、データ分析、専門的な助言を担当

「大学生・大学院生(探究ナビゲーター)」

データ分析やアプリ開発等の探究活動を生徒に伴走して支援

③ 実践的な授業

- 学校設定科目「AI/DS探究」を新設
文理を問わず全員がAIやデータサイエンスを活用した探究活動に取り組む
【課題テーマ例】伊勢志摩の観光課題
観光客数・人流・交通データを分析し、混雑緩和や周遊促進のアプリ等を提案



④ 育成する人材像・卒業後の姿

AI・データを活用し、地域や産業の課題を解決できる人材

- ✓ データから課題を捉える力
- ✓ AIを活用して解決策を考える力
- ✓ 提案をアプリ等の形にできる力

■ 卒業後の姿

○大学等への進学

- ・ AI・データサイエンス探究の成果を生かし、総合型・学校推薦型選抜に挑戦

○大学等卒業後

- ・ 半導体、ものづくり、観光、公共分野などで、AI・データを活用して、地域や産業の課題解決に取り組む人材として活躍

伊勢高校で実証した、誰もが理数的素養を身につける普通科教育モデルを県内へ展開